

平成20年度後学期 学生による授業評価アンケート調査（最終）  
「アンケート結果に応じて」

所属部局	人文学部		氏名	黄 愛珍	
講義コード	237101301A		講義名	経済数学 I	
開講曜日	火曜日	5・6 時限	専門科目		
授業回数	14 回	休講回数	0 回	補講回数	0 回
				受講登録者数	109 人
成績評価に際し注意した事項					
平常点（出席等）20%+期末試験80% で評価しました					
報告内容					
<p>まずは、授業アンケートに答えてくれた受講生に感謝を申し上げます。</p> <p>受講生は経済学科学生からなる109名であり、回答率は77.0%でした。</p> <p>授業の満足度に関して、アンケートの結果を見る限り、まずまずの評価が得られたと考えています。カルテのグラフによると、「学生が重要であると考え、その満足度が高い項目」としては、①授業の主題・テーマが明確である、②学生の質問・相談に応じる姿勢があった、③学生に公平に接していた項目があげられます。</p> <p>一方「学生が重要であると考えているが、その満足度が低い項目」としては、「学生の反応を確かめながら講義をしていた」が上げられています。今後は、内容とスピードに留意し、特に学生の反応に留意しながら授業展開を考えていきたいと思ひます。</p> <p>授業評価アンケートの記述内容（自由記述欄）について、よかったところとしては、「進度がゆっくりだったところ」、「テーマが明確でわかりやすかった」、「経済という内容への理解を深めることができた」、「説明が丁寧であった」、「わかりやすかった」、「板書がわかりやすかった」、「声が聞き取りやすかった」、「授業のスピードがよかった」、「中間アンケートで授業を改善したこと」があげられています。</p> <p>改善すべき点として、「学生に問題を解かせる」、「もっと計算練習をその場でやりたかった」、「板書を見やすく」があります。</p> <p>今回、初めてこの講義を担当させていただきました。受講生が2年生時に受けるミクロ経済学Ⅰ（必修）に必要な数学知識すべてを講義中に取り上げなければならないので、内容が多くて、講義中に学生に問題を解かせる時間を設けることが難しかったです。ただ、数学の講義なので、やはり問題を実際学生に解かせることが重要であると感じています。今後は、受講生の皆さんからの意見を吸収し、宿題だけでなく、講義中に練習問題を学生にやらせる時間を取り入れていきたいと考えています。</p> <p>板書については、できるだけ丁寧に大きな字で書く努力をしていきたいと考えていますが、受講生もできるだけ教室の前の席に座るようにしてほしいです。</p> <p>受講生からの意見（特に否定的なもの）には最大限耳を傾けながら、すぐに改善できる箇所から取り組んでいきたいと思ひています。今後よりよい授業作りを心がけていきたいと考えています。</p>					